



正倉院

(舊作)

村上喜貞

一昨日も昨日も開かぬ御倉^{みくら}べにけふはゆるされむさ霧はれたり

すめろぎのみくらの床^{ゆか}の朝寒に心かしこみしはぶきてをり

後^{のち}人の侏儒^{しよじゆ}さや思^{おも}へるいにしへの伎樂の面はゑらゑらにをり

百ちかく面はならべりおのおのもつけて舞ひけむいにしへのひこ

面あまたいかしきなかに嘴^{はし}あるは迦樓羅なるらし青きその嘴

いにしへの唐天竺は今は亡^なし金翅鳥王さびしくあらむ